

## 4. ご家族に関すること

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていくことが必要であるとしています。また、県民の意識などの変化を継続的に把握することも重要です。

ここでは、「結婚に対する考え方と未婚理由」、「理想の子どもの数と現実」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
結婚経験	あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。 (問11)
結婚に対する考え方	(問11で「未婚」、「既婚・死別」、「既婚・離別」と回答した方へ) ・今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない (問12)
結婚していない理由	・日本では、「未婚」、「晩婚」が増えてきています。あなたは、未婚の人が結婚していない理由はどんなことだと思いますか。 (問13)
理想の子どもの数	・あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。 (問14)
子どもの数	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 (お子さんがいらっしゃる方へ) ・お子さんの年齢をご記入ください。 (問15)
(参考集計) 子どもの数の理想と現実のギャップ	・理想の子どもの数(問14)と現在の子どもの数(問15)との関係
子どもの数が理想より少ない理由	・これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少なくなっています。あなたは、その理由はどんなことだと思いますか。 (問16)
介護が必要な家族の有無	・現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。 (問17)

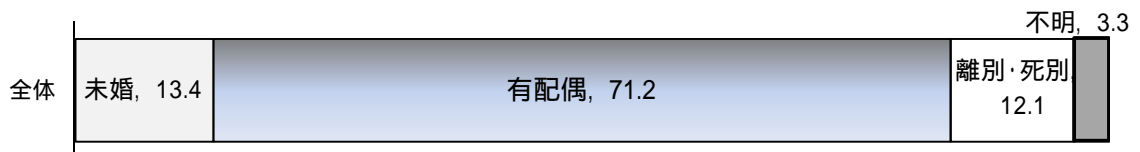
あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。

問11

### ➤ 結婚経験

回答者の配偶関係は、「未婚」が13.4%、「有配偶」が71.2%、「離別・死別」が12.1%となっています。

図表 2-4-1 配偶関係



今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。問12

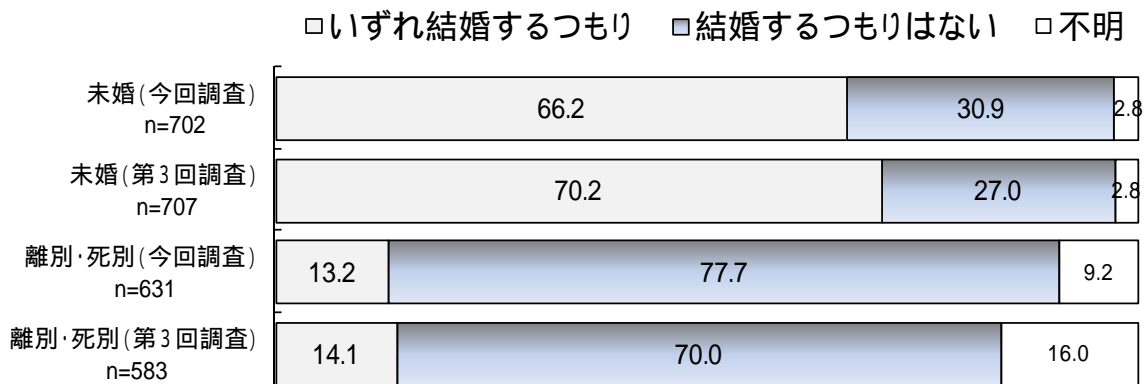
### ➤ 結婚に対する考え方

結婚に対する考え方を質問したところ、未婚は「いずれ結婚するつもり」が66.2%、「結婚するつもりはない」が30.9%となっています。離別・死別は「いずれ結婚するつもり」が13.2%、「結婚するつもりはない」が77.7%となっています。

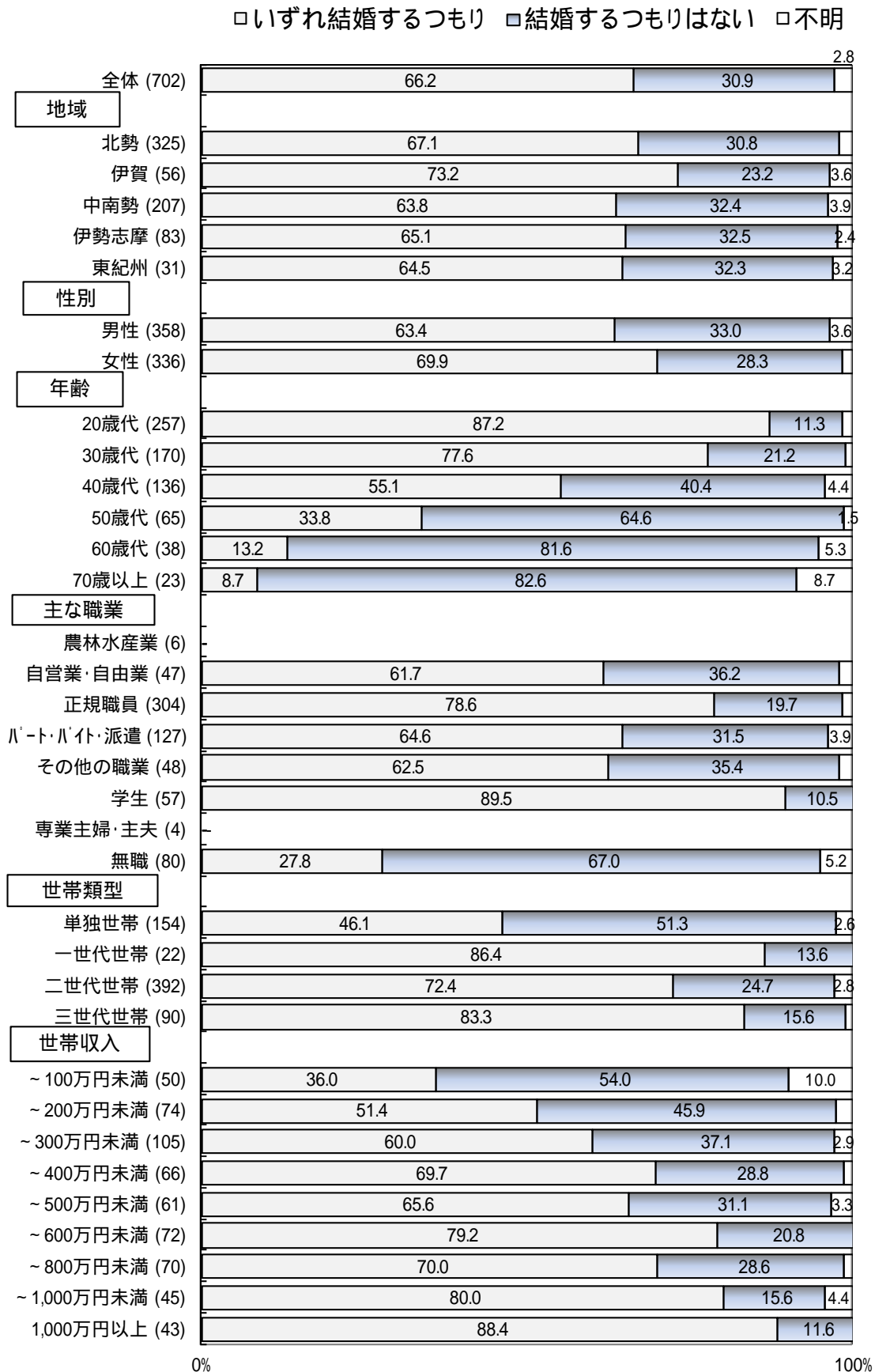
「未婚」における属性や属性項目の主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・年齢（10歳階級）別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、20歳代（87.2%）、30歳代（77.6%）は全体より高い。
- ・主な職業別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、学生（89.5%）及び正規職員（78.6%）は全体より高い。
- ・未婚も離別・死別も「いずれ結婚するつもり」が第3回調査より低い。

図表 2-4-2 結婚に対する考え方



図表 2-4-3 「未婚」の結婚に対する考え方(属性別)



( )内はサンプル数です。

農林水産業及び専業主婦・主夫はサンプル数が少ないため、非表示としています。

日本では、「未婚」、「晩婚」が増えてきています。あなたは、未婚の人が結婚していない理由はどんなことだと思いますか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいいくつでも)

**問13**

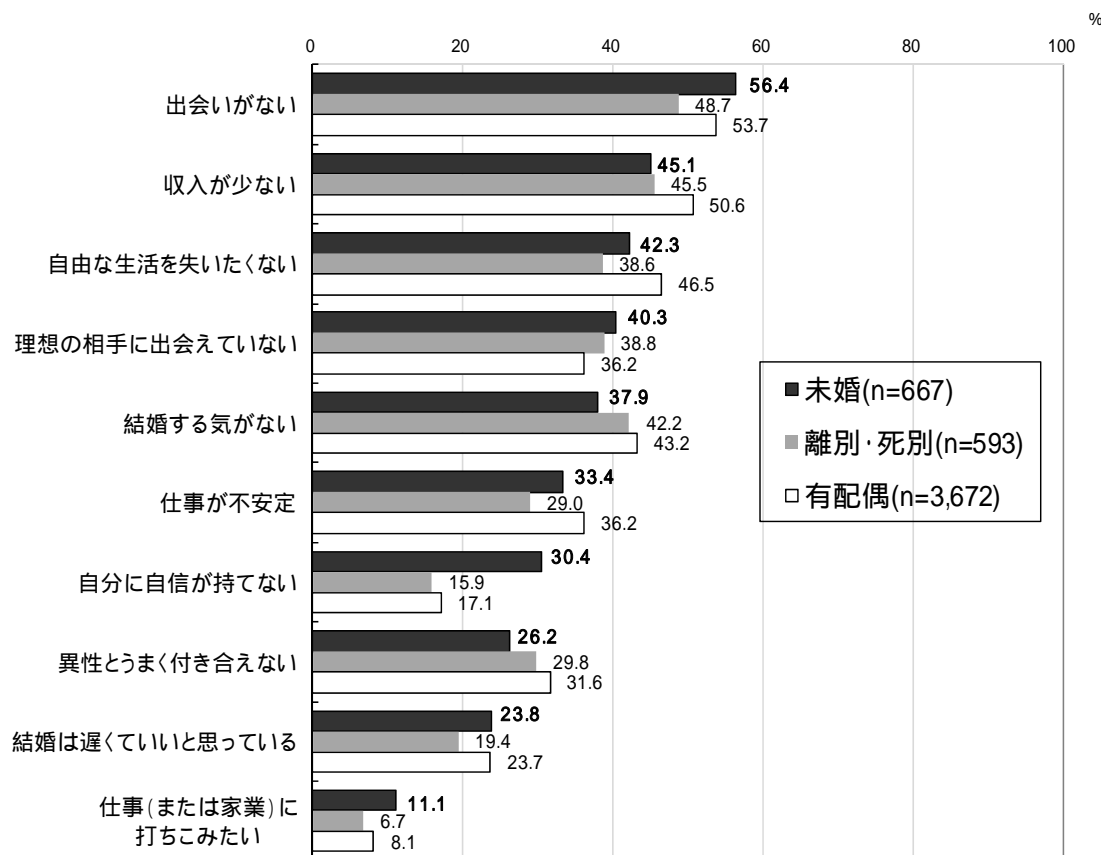
➤ 結婚していない理由

全ての方に、未婚の人が結婚していない理由を質問したところ、未婚、離別・死別、有配偶のいずれも、「出会いがない」の割合が最も高く、次いで「収入が少ない」の順となっています。

「未婚」における属性や属性項目の主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・男性は「出会いがない」、「収入が少ない」が同率で最も高い。
- ・女性は「出会いがない」、「理想の相手に出会えていない」の順に高い。
- ・地域別では伊賀を除く全ての地域で「出会いがない」が最も高く、伊賀では「収入が少ない」が最も高い。
- ・主な職業別では自営業・自由業、パート・バイト・派遣、無職で「収入が少ない」が最も高い。(無職は「出会いがない」も同率で最も高い)

図表 2-4-4 結婚していない理由



図表 2-4-5 「未婚」の結婚していない理由(属性別、全体の上位7項目)

(%)

		出会いがない	収入が少ない	自由な生活を失いたくない	理想の相手に出会っていない	結婚する気がない	仕事が不安定	自分に自信が持てない
全体		56.4	45.1	42.3	40.3	37.9	33.4	30.4
地域	北勢	56.9	40.9	44.1	43.5	40.3	31.0	26.8
	伊賀	60.0	62.0	48.0	44.0	44.0	42.0	40.0
	中南勢	51.5	44.3	42.3	35.6	37.1	29.9	32.0
	伊勢志摩	55.0	45.0	36.3	37.5	30.0	38.8	37.5
	東紀州	80.0	66.7	30.0	40.0	30.0	53.3	23.3
性別	男性	54.5	54.5	37.5	31.5	37.2	37.8	29.2
	女性	58.8	35.6	47.4	49.8	39.0	29.4	31.9
年齢	20歳代	62.7	39.8	44.6	41.0	43.0	27.3	29.3
	30歳代	62.5	49.4	49.4	46.9	35.6	40.0	37.5
	40歳代	49.6	51.2	37.8	33.9	36.2	33.9	35.4
	50歳代	54.1	45.9	36.1	41.0	36.1	41.0	21.3
	60歳代	36.1	55.6	27.8	33.3	36.1	41.7	19.4
	70歳以上	33.3	28.6	38.1	42.9	23.8	28.6	14.3
主な職業	自営業・自由業	44.4	53.3	44.4	33.3	44.4	33.3	24.4
	正規職員	60.0	37.6	45.9	42.4	35.5	26.9	29.0
	パート・バイト・派遣	58.3	62.5	37.5	35.8	32.5	52.5	34.2
	その他の職業	51.1	57.8	44.4	46.7	35.6	37.8	26.7
	学生	66.7	29.8	40.4	40.4	52.6	24.6	22.8
	無職	45.6	45.6	34.4	41.1	42.2	35.6	41.1
世帯類型	単独世帯	49.0	49.0	44.9	40.8	38.1	36.7	27.2
	一世代世帯	65.0	30.0	30.0	45.0	30.0	25.0	25.0
	二世帯世帯	58.8	44.1	42.3	39.6	34.8	32.4	31.1
	三世帯世帯	57.5	44.8	43.7	43.7	51.7	31.0	34.5
世帯収入	～100万円未満	51.1	35.6	20.0	46.7	35.6	35.6	40.0
	～200万円未満	52.9	54.3	42.9	42.9	34.3	47.1	30.0
	～300万円未満	50.0	59.0	42.0	38.0	40.0	38.0	31.0
	～400万円未満	59.4	51.6	43.8	29.7	34.4	39.1	15.6
	～500万円未満	62.1	36.2	51.7	36.2	31.0	32.8	29.3
	～600万円未満	51.5	39.7	39.7	39.7	29.4	23.5	30.9
	～800万円未満	67.6	41.2	42.6	45.6	38.2	32.4	32.4
	～1,000万円未満	65.1	39.5	44.2	39.5	48.8	20.9	23.3
1,000万円以上	56.1	46.3	46.3	41.5	29.3	36.6	22.0	

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

回答割合全体の上位7項目のみを記載しています。

サンプル数が10未満の属性項目は図表に記載していません。

離別・死別及び有配偶の図表は省略しています。

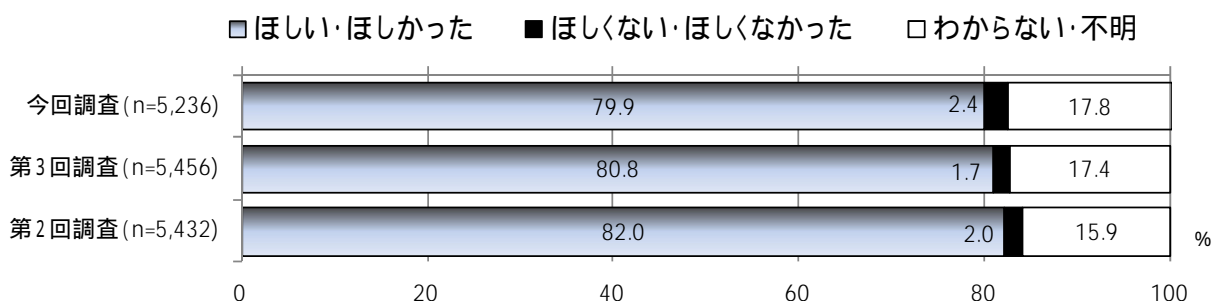
あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。( は1つだけ。「1」に をつけた方は( )に人数も記入してください。)

問14

### ➤ 子どもを希望する割合

子どもの希望を質問したところ、「子どもがほしい・ほしかった」の割合は 79.9%で、第2回調査及び第3回調査より低くなっています。

図表 2-4-6 子どもを希望する割合

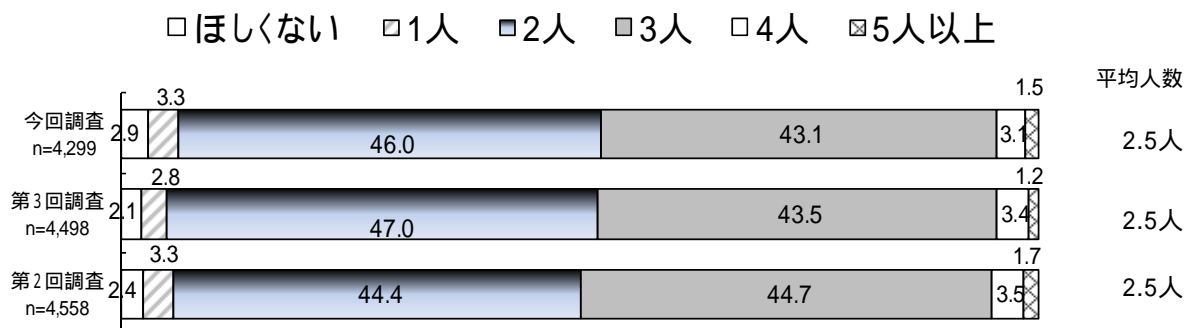


### ➤ 理想の子どもの数

理想の子どもの数については、「2人」の割合が46.0%で最も高く、次いで「3人」(43.1%)となっています。第3回調査と比較すると「0人(ほしくない、ほしくなかった)」及び「1人」などの割合が高くなった一方、「2人」、「3人」、「4人」の割合は低くなっています。

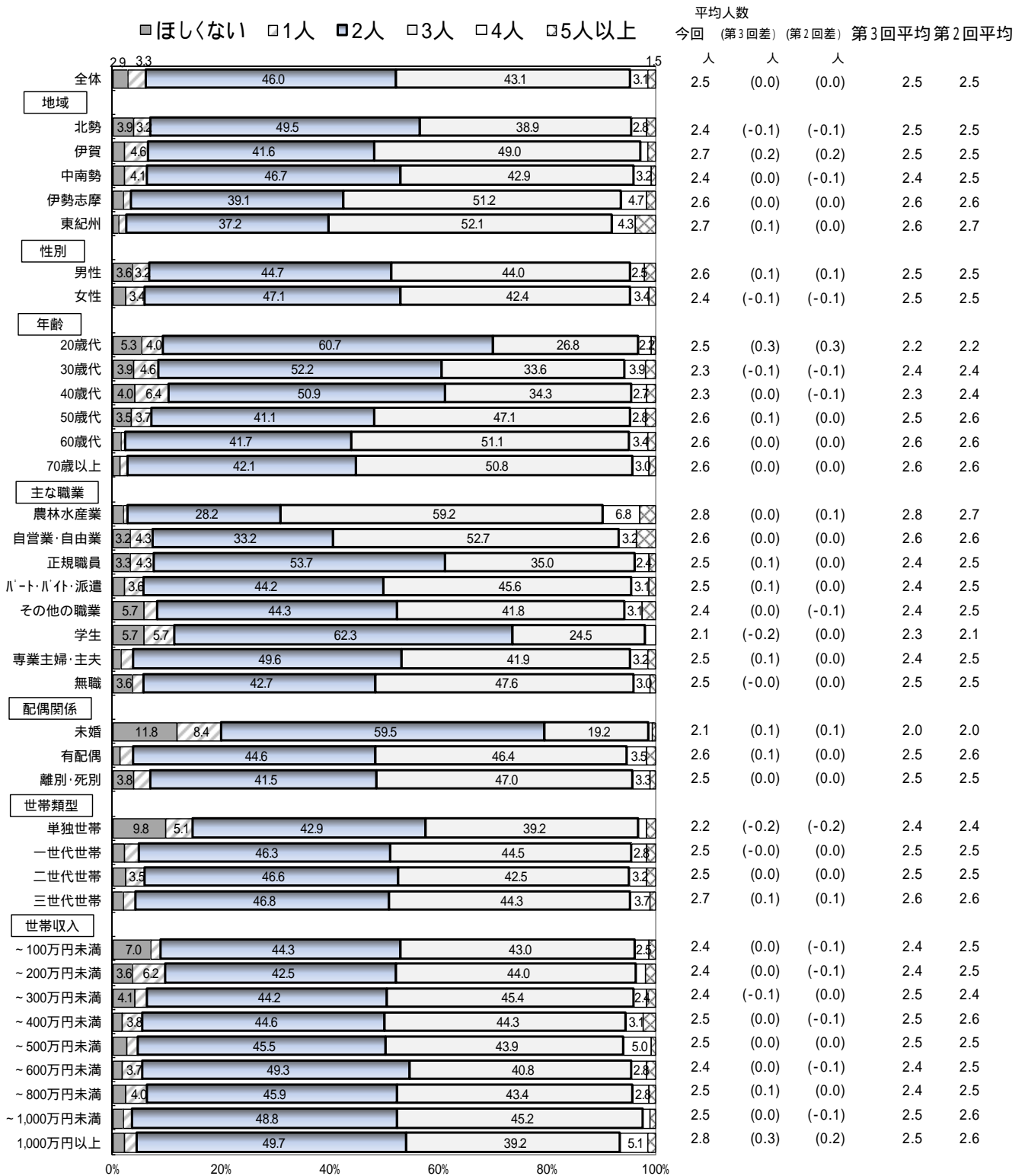
理想の子どもの数の平均は2.5人で、第2回調査及び第3回調査と同じとなっています。

図表 2-4-7 理想の子どもの数の推移



理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。(n=4,299)  
平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

図表 2-4-8 理想の子どもの数(属性別)



理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。  
 平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

お子さんは何人いらっしゃいますか。いない方は「0」とお答えください。

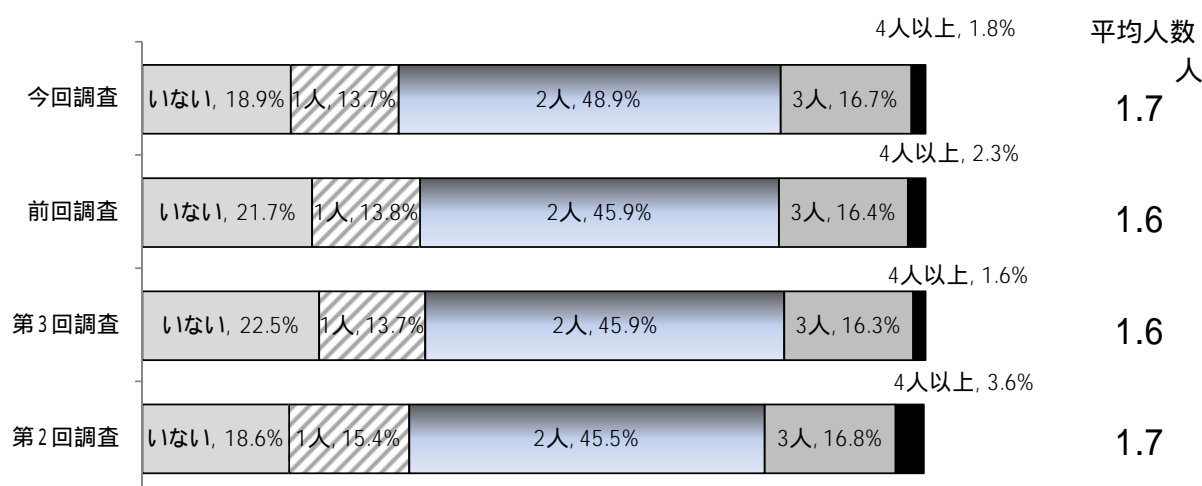
同11

## ➤ 子どもの数

実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が48.9%、「いない」が18.9%、「3人」が16.7%、「1人」が13.7%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.7人で前回調査及び第3回調査より0.1人多くなっています。

図表 2-4-9 子どもの数



「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出しています。

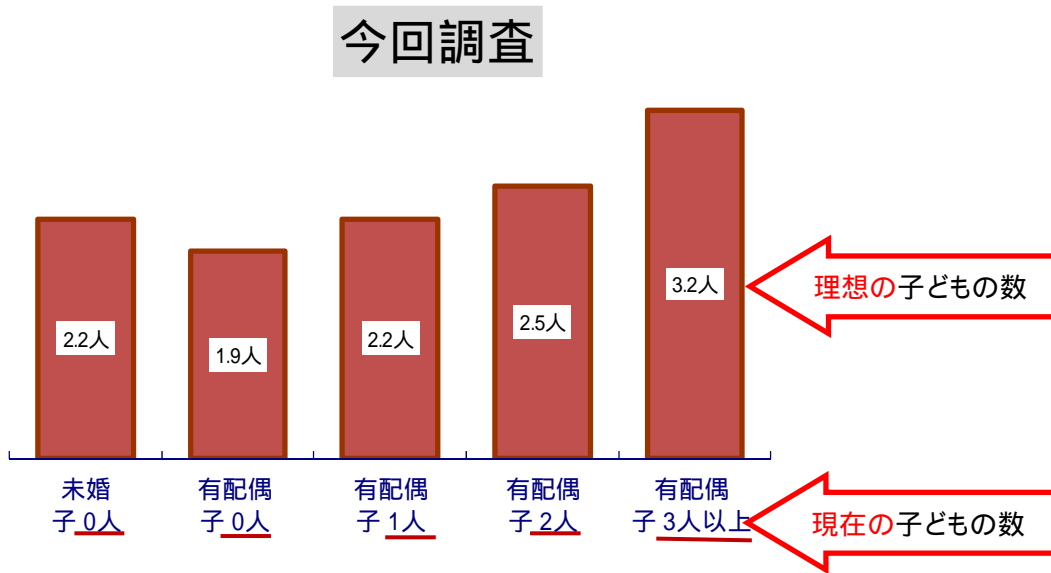
## 子どもの数の理想と現実のギャップ(参考集計)

20歳代~40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもいない層は2.2人、有配偶で子どもがいない層は1.9人、有配偶で子ども1人の層は2.2人、有配偶で子ども2人の層は2.5人、有配偶で子ども3人以上の層は3.2人で、実際の子どもの数は理想の数より少なく、第2回調査及び第3回調査と同様の結果となっています。

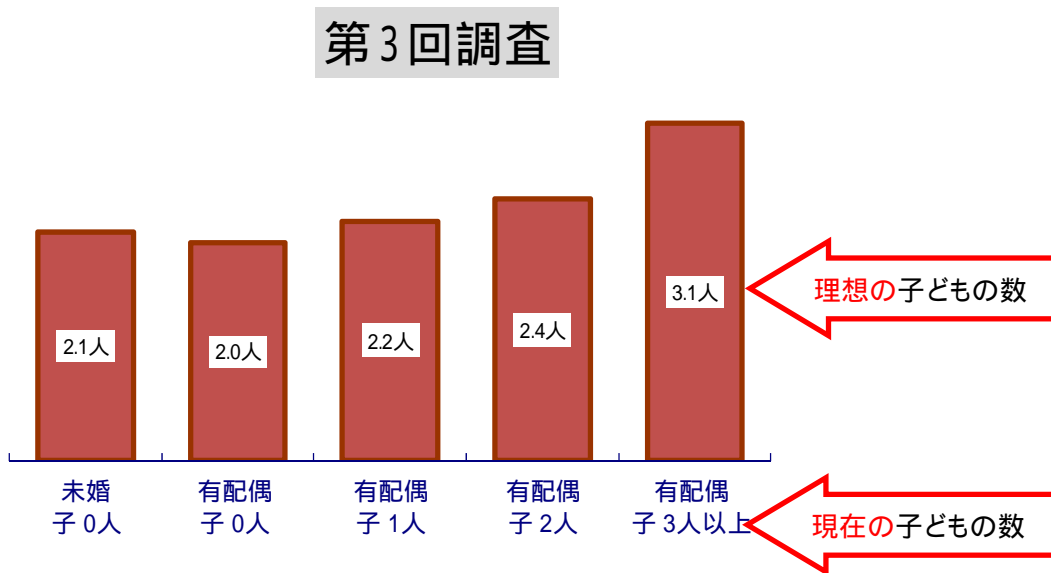
第3回調査と比べると、未婚で子どもがいない層、有配偶で子ども2人の層、有配偶で子ども3人以上の層で、それぞれ0.1人ずつ増加しています。



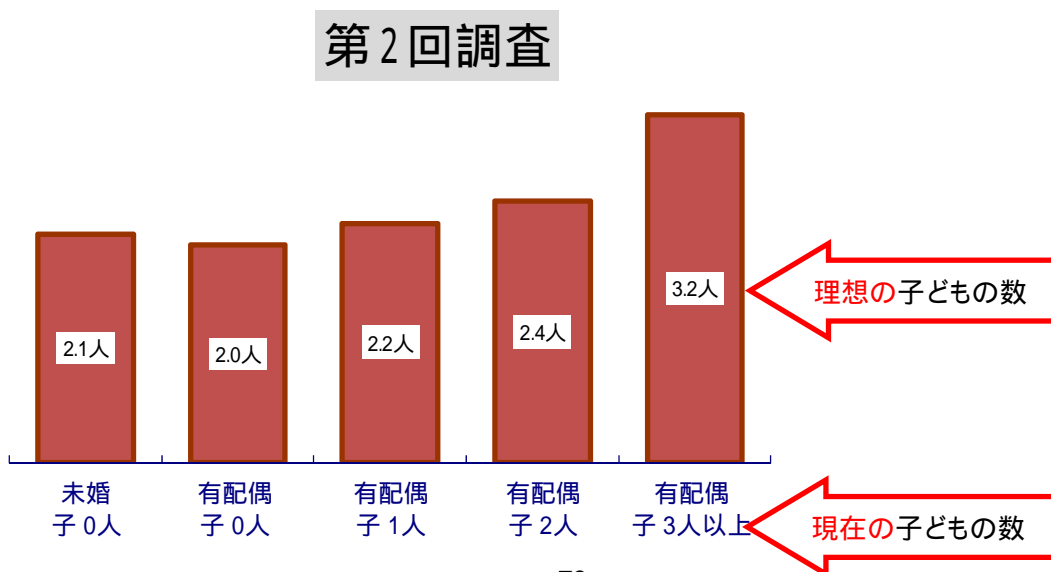
図表 2-4-10 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(今回調査)



図表 2-4-11 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(第3回調査)



図表 2-4-12 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(第2回調査)



これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少なくなっています。あなたは、その理由はどんなことだと思いますか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまでをつけてください。( は2つまで)

**同16**

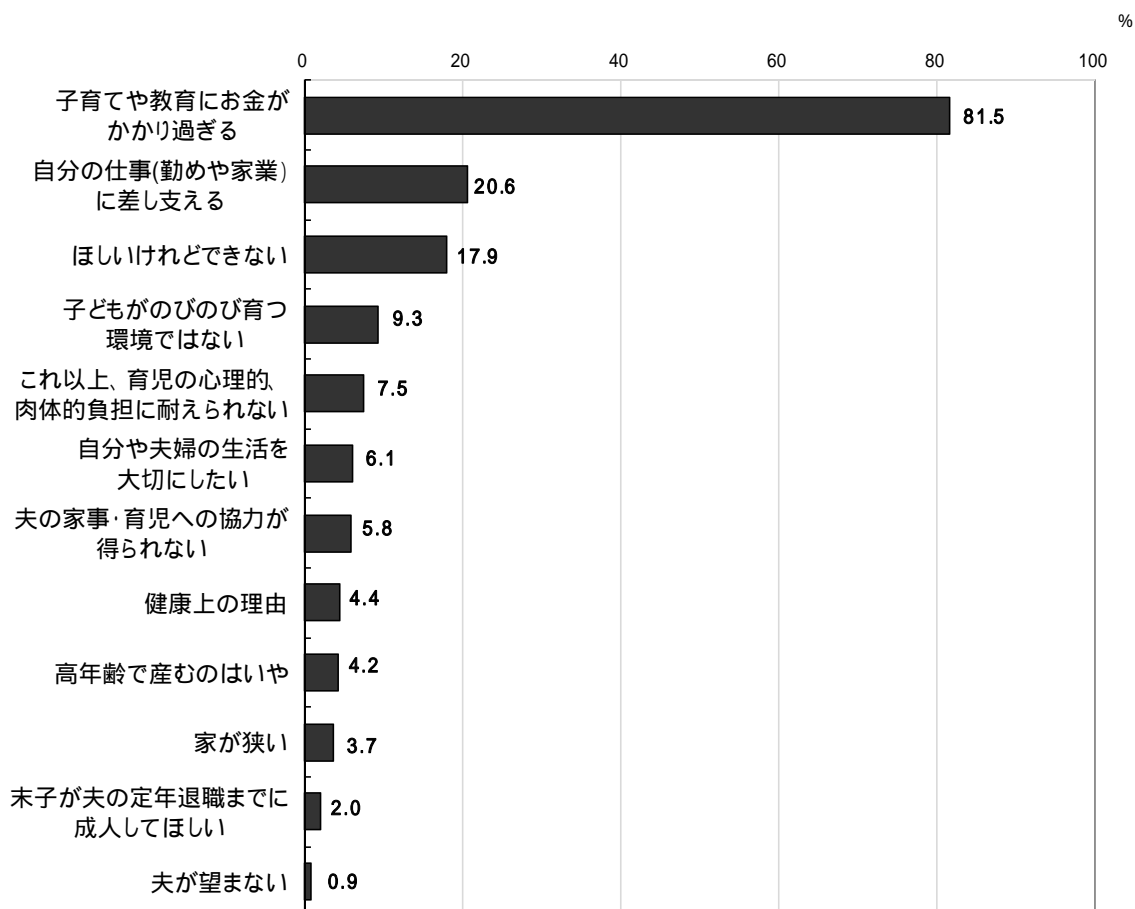
➤ **子どもの数が理想より少ない理由**

「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合が 81.5%で特に高く、次いで「自分の仕事(勤めや家業)に差し支える」(20.6%)、「ほしいけれどもできない」(17.9%)の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。( 統計的有意性は未確認)

- ・年齢(10歳階級)別で「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合を見ると、20歳代(86.8%)が最も高い。
- ・主な職業別で「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合を見ると、学生(93.8%)が最も高い。
- ・世帯類型別で「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合を見ると、三世帯世帯(85.1%)が最も高い。

図表 2-4-13 子どもの数が理想より少ない理由



図表 2-4-14 子どもの数が理想より少ない理由(属性別、全体の上位7項目)

(%)

		子育てや教育にお金がかかり過ぎる	自分の仕事(勤めや家業)に差し支える	ほしいけれどもできない	子どもがのびのび育つ環境ではない	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられない	自分や夫婦の生活を大切にしたい	夫の家事・育児への協力が得られない
全体		81.5	20.6	17.9	9.3	7.5	6.1	5.8
地域	北勢	80.2	19.9	17.8	9.0	8.4	6.4	6.7
	伊賀	82.5	19.4	20.7	9.1	7.1	5.7	4.3
	中南勢	82.9	21.9	16.5	9.6	7.6	6.3	5.6
	伊勢志摩	81.8	22.7	18.0	10.3	5.8	6.3	4.3
	東紀州	83.0	16.5	20.6	7.7	4.6	3.1	5.7
性別	男性	82.8	16.4	13.3	11.2	7.9	7.8	2.9
	女性	80.3	24.0	21.6	7.9	7.5	4.8	8.0
年齢	20歳代	86.8	24.4	20.1	11.9	6.3	5.0	6.6
	30歳代	80.0	26.1	23.6	5.9	8.4	5.0	6.5
	40歳代	80.4	19.6	25.1	6.2	7.8	4.8	6.8
	50歳代	84.9	21.7	17.9	7.5	8.6	7.2	7.5
	60歳代	82.5	18.5	15.3	11.5	8.8	6.6	5.1
	70歳以上	77.5	19.5	12.4	11.2	5.4	6.6	3.9
主な職業	農林水産業	82.5	20.2	21.9	7.9	8.8	4.4	1.8
	自営業・自由業	79.9	24.6	16.4	7.7	5.7	6.0	6.0
	正規職員	81.9	22.6	20.6	8.6	8.0	7.6	3.8
	パート・バイト・派遣	84.9	22.6	19.5	7.8	7.9	4.2	9.0
	その他の職業	86.1	17.7	13.9	11.5	9.6	3.8	4.8
	学生	93.8	27.1	8.3	12.5	8.3	-	10.4
	専業主婦・主夫	79.5	18.5	22.0	7.6	8.3	5.6	7.9
配偶関係	無職	78.0	17.3	12.3	12.8	6.7	7.5	4.0
	未婚	83.1	21.9	17.5	11.9	7.2	5.7	5.6
	有配偶	81.3	20.7	18.6	8.7	7.7	6.3	5.9
世帯類型	離婚・死別	81.4	19.7	14.1	9.2	7.5	5.8	5.6
	単独世帯	79.1	16.3	11.4	12.9	8.0	8.0	4.9
	一世代世帯	80.2	19.2	20.2	9.5	6.0	7.1	5.1
	二世帯世帯	81.9	21.7	18.1	9.2	8.8	5.3	6.3
世帯収入	三世帯世帯	85.1	24.4	16.5	7.2	6.7	5.2	6.2
	～100万円未満	77.4	15.6	17.1	14.6	5.5	5.5	5.5
	～200万円未満	80.4	17.5	15.9	9.8	6.8	5.1	6.3
	～300万円未満	80.3	16.7	14.0	13.3	8.2	7.0	5.4
	～400万円未満	83.0	20.9	18.3	10.7	5.6	6.2	5.1
	～500万円未満	83.0	19.7	19.3	7.4	7.9	6.0	7.4
	～600万円未満	83.0	20.9	19.9	7.4	7.2	6.8	7.4
	～800万円未満	83.3	25.7	17.2	7.1	10.2	6.0	3.8
～1,000万円未満	82.2	23.4	20.9	9.3	7.5	7.2	4.4	
1,000万円以上	78.1	29.2	21.0	4.8	8.6	7.3	7.9	

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

回答割合全体の上位7項目のみを記載しています。

現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。(○は1つだけ)

問17

➤ 介護が必要な家族の有無

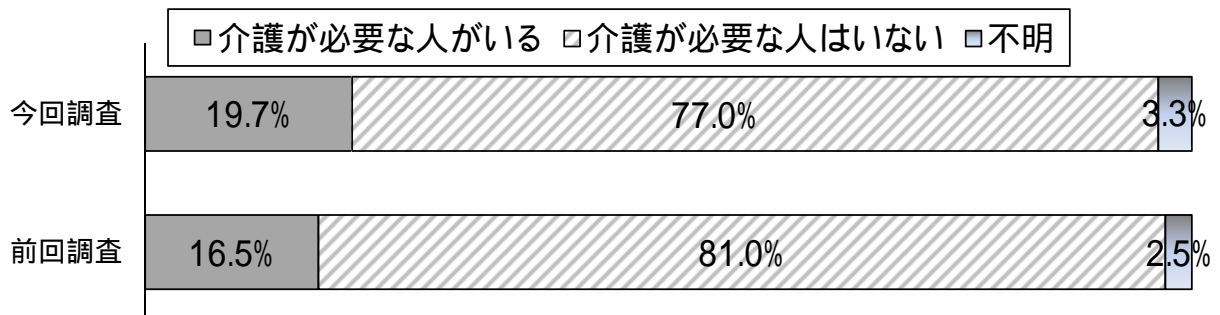
介護が必要な家族の有無を質問したところ、「介護が必要な人がいる」の割合が19.7%、「介護が必要な人はいない」が77.0%で、「介護が必要な人はいない」の割合が高くなっています。

前回調査と比べると、「介護が必要な人がいる」は3.2%高くなっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・年齢(10歳階級)別では、50歳代の「介護が必要な人がいる」の割合が23.8%と最も高く、50歳代以上は20%を超えている。
- ・主な職業別で「介護が必要な人がいる」の割合を見ると、農林水産業(26.0%)が最も高い。
- ・世帯類型別で「介護が必要な人がいる」の割合を見ると、三世帯世帯(28.7%)が最も高い。
- ・世帯年収別で「介護が必要な人がいる」の割合を見ると、100万円未満(24.2%)が最も高い。

図表 2-4-15 介護が必要な家族の有無



図表 2-4-16 介護が必要な家族の有無(属性別)

